

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	まだ地域掲示板のない地域があり、地域コミュニティの活動内容や情報の共有ができなかった。
事業実施後の状況	掲示板を設置することにより空白地域にもコミュニティの活動内容や地域団体の情報を共有ができるようになった。
事業の効果	地域コミュニティの活動内容・地域団体の情報をより多くの地域住民に知らせることができた。
今後の課題等	掲示板のない地域からの要望があるため引き続き掲示板設置をしていく。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	コミュニティ倉庫設置事業
事業実施前の状況	倉庫が渋谷会館の2Fにあったため、重いテントや机などの備品の出し入れが重労働だった。
事業実施後の状況	倉庫を渋谷会館の敷地内1Fに設置することができ、多くの備品は収納することができた。
事業の効果	軽トラックを横付けすることができるようになったので、出し入れが簡易になり負担が軽減された。
今後の課題等	まだ備品が収納しきれず、2Fにある備品もあるので、今後検討が必要となる。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	交差点での事故・事件に関する情報収集の手段がなかった。
事業実施後の状況	交差点での情報収集ができるようになった。
事業の効果	防犯カメラがあることにより、事件の抑止効果が期待できる。また、事故があった時に客観的な情報源になっている。
今後の課題等	監視地域のカバー率がUPしたが、まだカバーできていない地域が3割ほどある。下渋谷の交差点と上渋谷の交差点については今後の課題である。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	AED管理事業
事業実施前の状況	4会館（上渋谷・下渋谷・畑・南畑）に設置したAEDは備品を適切に維持管理されている。
事業実施後の状況	必要な備品交換を行った。
事業の効果	必要な拠点にAEDが設置されており、住民の安全安心な生活に貢献している。
今後の課題等	AEDは引き続き適切に管理していくが、救命講習会などを通じて、より一層の安全意識の向上に努めていく必要がある。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	年3回発行の「秦野まちづくりだより」を写真を多くして見やすいものにし、行事にはより広くわかりやすく記事内容の充実に努めた。
事業実施後の状況	年3回の発行に加え認知度調査の号外号を発行して協議会の内容をよりわかりやすく伝えた。
事業の効果	号外号を1枚もので発行したことにより回答率も高まっているので関心も増えている。地域の内容を写真も使い、より詳しく伝えることで地域内の活性化につながっている。
今後の課題等	まだ活動のPRが足りない。地域住民とのコミュニケーションが必要である。協議会の会員の募集も含め、啓もう活動に努めたい。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	地域ギャラリー維持管理事業
事業実施前の状況	二週間に1度の入替を1か月に1度の入替に変更した。 地域の催しも写真なども使い紹介した。 幼稚園の作品も継続的になってきた。
事業実施後の状況	地域事業の発信・住民の作品展示・地域イベントの写真などを多く展示し、広報活動に努めた。幼稚園、こども会などの掲示も多くなっている。
事業の効果	毎年、新しい作品が増えている。 認知度がよりアップしている。 通行人の方にもよく見ていただいている。
今後の課題等	作品集めはまだ必要。 今後も根気強く広報活動を続けていきたい。

様式第5号（第7条関係）

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	校区盆踊り大会事業
事業実施前の状況	スポーツ振興会・子ども会等で開催している。 コミュニティ意識の高揚をはかる。
事業実施後の状況	備品などで共同開催を支援しており、参加人数も増加している。
事業の効果	備品を揃え、スポーツ振興会・子ども会への支援が充実したと思われる。
今後の課題等	今後は、古くなった備品を順次交換する必要がある。耐震工事により小学校のグラウンドの使用面積が狭いためレイアウトに一考の必要がある。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	地域イベント活性推進事業
事業実施前の状況	あおぞら de はたのフェスタを秦野小学校でおこなうことにより参加・出店人数が増えた。地域の盆踊りなどで使用する設備が不十分だった。
事業実施後の状況	秦野小学校耐震工事のためあおぞら de はたのフェスタは渋谷中学校で行った。 地域の盆踊りで使用する電源盤・分電盤延長工事を行った。紅白幕・かき氷器などの備品を購入した。
事業の効果	あおぞら de はたのフェスタを渋谷中学校でおこなったことにより協議会の認知度が上がった。工事・備品購入により、地域行事の円滑な活動に寄与している。
今後の課題等	あおぞら de はたのフェスタを渋谷中学校で行うことについて、さらなる広報が必要である。今後も地域活動に必要な備品の充実化に向けていきたい。



平成 28 年 4 月 20 日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	秦野地域花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	今回で 3 回目の事業。渋谷中学校・地域の各団体と連携して行った。
事業実施後の状況	保護者・保護者 O B・教職員・地域の方々が参加し、17 回の活動を行い、菊づくりを中心に草花（ストレストカーパス・パンジー）の栽培に対して支援した。 苗・土・肥料・鉢・プランターの他にスコップなどの用具も揃えることができた。
事業の効果	咲いた菊を中学校の文化祭で展示することにより来訪者を和ませた。あおぞら de はたのフェスタでも展示・販売を行い、認知度は高まっている。また各会館にも分けて喜ばれた。
今後の課題等	今後も継続的に支援していきたい。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	自然学習講習会・昆虫育成事業
事業実施前の状況	カブト虫養育場の幼虫掘りは実施時期が遅かったため、大人だけで前もって行ったため、子供たちにその感動は伝えられなかったが、幼虫の成長を見てもらうことができた。
事業実施後の状況	五月山へのハイキング、自然学習講習会、カブト虫養育場での幼虫掘り起し、腐葉土の入替を行った。
事業の効果	五月山へのハイキングを行ったことにより日頃運動不足の子供たちへの影響大。幼虫を掘り起こすことで自然の営みを感じてもらえた。養育場の土の入替をすることにより、土壌の清潔さが保たれる。
今後の課題等	次年度は9月に観察日記を回収し、成虫を放つ事業を遂行したい。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	交通安全対策事業
事業実施前の状況	飛び出し坊や設置から年月が経っており、劣化しているものが多かった。
事業実施後の状況	飛び出し坊やすべてをきれいなものに入れ替えた。
事業の効果	きれいなものに替えたことにより、交差点などでよりわかりやすくなり、地域住民の目に留まるため、きをつけるようになっている。
今後の課題等	劣化しているものを早めに入れ替えていきたい。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	うたいっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	地域住民すべてに参加してもらえない事業がなかったため交流をはかることがむずかしかった。
事業実施後の状況	公募で集まった老若男女の団員が地域をキャロリングして小学校の体育館でミニコンサートを行い、地域交流を図った。
事業の効果	地域の方々はキャロリング途中2カ所で止まって歌うところで待っていて聞いていただき、小学校の体育館では椅子を補充しなくてはいけないくらい人が集まった。地域住民相互の交流が深まった。
今後の課題等	キャロリング中止まって歌う場所を精査する必要がある。歌うことによりみんなを笑顔にできるよう、今後も継続して支援していきたい。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	キッズランド支援事業
事業実施前の状況	キッズランドでの文具等がまだまだ足りない。古く <del>な</del> なったものの入れ替えができない。
事業実施後の状況	文具等が増えた。
事業の効果	遊びの幅が広がり、楽しんで過ごしている。
今後の課題等	まだまだ文具等が足りないし古くなっているので、継続的に支援する必要がある。

平成28年4月20日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	地域内子ども会等活動支援事業
事業実施前の状況	団旗が古く破れているところもあった。学校行事で歴史に触れることが少なかった。
事業実施後の状況	団旗がきれいになった。 姫路城見学で歴史の勉強をすることができた。子ども会全体でいちご狩りをした。
事業の効果	歴史の勉強ができたことはよかったしいちご狩りをして子ども会相互の知識の共有を図り親交を深めることができた。
今後の課題等	バス代、入場券の高騰に対応して引き続き支援していきたい。